

6月20日さいたま市長メッセージ

皆さんこんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

先月、さいたま市は、「ツール・ド・フランス」などの世界的な自転車ロードレースを主催しているA.S.O.が実施する「ツール・ド・フランス サイクルシティラベル」において、レベル2の認定を受けました。この認定は、自転車普及に積極的に取り組む自治体のPRを目的に発足した制度で、アジアの都市として初めてさいたま市が認定されました。

さいたま市は、健康づくりや環境への配慮といった観点から、自転車を活用したまちづくりを推進しています。2016年には、さいたま自転車まちづくりプラン「さいたまはーと」を策定し、様々な施策に取り組んできました。

幅広い世代への交通安全教室の実施や、自転車ネットワーク路線の整備、駐輪場の適正配置のほか、シェアサイクル事業では、現在、市内442か所のステーションが設置され、多くの方々にご利用いただいています。

また、地元自転車プロチームの「さいたまディレーブ」と連携協定を締結し、学校での自転車安全教室をはじめ、自転車文化の醸成とともに取り組んでいます。

このたびの認定は、こうした取組が高く評価されたものであり、たいへんうれしく思っています。

11月2日には、記念すべき10回目の「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」が開催されます。今後も、自転車の魅力を多くの方に知っていただき、「人と環境にやさしい安全で元気な自転車のまちさいたま」を実現してまいります。